

新年のごあいさつ

吹田市議会議長
木村 裕



新年明けましておめでとうございます。
市民のみなさまにおかれましては、よき新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

さて、昨年4月、本市は市制施行80周年と中核市への移行という、記念すべき大きな節目を迎えました。また、中核市移行に伴い、市保健所の運営をはじめ、保健衛生、環境、都市計画など、多くの事務を新たに担うことで、市民のみなさまのより身近なところで行政を行うことが可能となり、市民サービスの一層の充実が図られた年でもありました。

その一方で、春先からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、医療をはじめ、経済、労働、教育など、市民生活のあらゆる分野に甚大な影響を及ぼし、今なお収束の兆しが見えない状況にあります。

市議会では、市民のみなさまが一日でも早く、感染拡大前の日常を取り戻すことができるよう、鋭意対応してまいりましたが、今後とも継続的に、また、効果的な支援策を推進するため、しんし真摯に議論を重ね、慎重かつ確かな判断をしてまいる所存であります。引き続き、みなさまのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年がみなさまにとりまして、ご健勝にて幸多き、希望に満ちた一年となりますよう心から祈念申し上げまして、年頭にあたりましてのごあいさつとさせていただきます。

吹田市長
後藤 圭二



明けましておめでとうございます。
昨年は、世界中で新型コロナウイルス感染症が広がり、誰もが予想しなかった暮らしや働き方を余儀なくされました。日常生活のみならず医療体制において予断を許さない状況が続いています。

改めまして市民のみなさまには、長きにわたりさまざまな場面で感染拡大防止にお力をいただいておりますことを感謝申し上げます。

さて、本市は令和2年4月に市制施行80周年を迎えるとともに、中核市として大きな一歩を踏み出しました。保健所の設置をはじめ、吹田市が独自の権限を持つことにより、市民のみなさまにとって身近なところで効率よく行政サービスを提供できるようになりました。

昨年9月には、お待たせしていました吹田市文化会館(メイシアター)のリニューアルオープンが実現しました。また、11月には北大阪健康医療都市(健都)内に、市内10番目となる図書館「健都ライブラリー」が新たに開館するなど、厳しい社会状況においても、市民のみなさまに求められ愛されるまちづくりを着実に進めてまいりました。

今後も「中核市吹田」は、まちの機能を充実し魅力をさらに磨き上げ、市民のみなさまが安心して健やかで快適に暮らし続けられるよう全力を尽くします。

本年こそみなさまにとって良い年となりますようお祈り申し上げます。